事務事業 No./名称	☐ サービス部門 ☒ 支援部門 都整-16 受託設計・工事監理事業						
主管課	道路課	関連課					
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に関わる事務効率の向上及び経費削減						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	0	0	0	平成26年度、道路 課人件費: 8,347,624円		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	0	0	0			
	人員配置数	2.0人	2.0人	2.0人			
	人件費(千円)	16,695	16,708	17,849			
事務事業 運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	16,695	16,708	17,849			
	市民1人当りの経費(円)	0	0	0			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
受託設計・工事監理事業の達成率	○	目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
受託設計・工事監理事業	0	受託設計・工事監理事業	0	今後の方向性	C	理由・手法	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上、経費の削減を図る。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	委任工事について、担当課との調整に時間を要する。 また、委任工事の実施時期や次年度の概算要求が一定期間に集中するため、その対応が難しい。						
課題解決のための取組							取組の結果 ☐ 解決 ☐ 未解決
未解決の課題	道路業務に携わりながら、他部署の技術的な相談及び概算見積りなどの業務を行っているため、十分な対応が図れない状況にある。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	平成17年度から、鎌倉駅及び大船駅周辺区での都市再生整備事業を展開するとともに、他部署からの委任工事として腰越漁港整備工などの大型プロジェクトを展開してきたことから、道路事業に支障をきたさないよう、委任部署の事業に対する意識改革、外注システムの確立などの検討を行う必要がある。						C
							※ ☐ 事業完了

評価者名

道路課担当課長

森 明彦